

～今年度もありがとうございました。～

仲春の候、雲南市ファミリーサポートセンター会員の皆様方におかれましては、ご健勝でお過ごしのことと存じます。今年度もファミサポ事業に対しましてご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。

今年は年明けから、能登半島地震や航空機事故と大きな災害と事故が続きました。何事もなく日々を過ごせることの有難さをいっそう感じています。亡くなられた方々のご冥福と被災地の一日も早い復興をお祈りいたしたいと思ひます。

新型コロナウイルス感染症も下火になり、コロナ前の生活に戻りつつありますが、油断をせず感染防止に努めながら援助活動を行っていきたくと思ひます。

～全国共通語だと思っていたのに・・・～

年が明けてからあっという間で、もう3月もなかばです。1月2月3月の慌たしさを私たちは「一月は行く、二月は逃げる、三月は去る」という言葉で表現しますが、なんと、この言葉は全国で通用するわけではないことが友達と話しをしていて分かりました。

友達の会社は各地に支社があり、本社の上司の方（島根におられたことがあります）が、関西での会議の際、この言葉で年頭の挨拶をされたところ、皆さんのきょとんとした反応が返ってきたのだそうです。その話しを聞いた友達は、早速、自分の会社の方（他県の出身）に言ってみたと、「はあ？それ何ですか？」と伝わらず「誰がさる（猿）なんですか？」と聞き返されたということで大笑いしました。当然知っているだろう・・・は要注意ですね。

～母の愛に感動！！～

3月で高校を卒業される子どもさんのお母さんの話です。卒業式の前日にお弁当を作っていて「今日が最後の弁当だと思ったら涙が出た」と話され、その話を聞いた同僚の方も胸がいっぱいで一緒に涙したとのことでした。そのお母さんは、「子どもの好きなこと、したいこと（部活）をさせてやりたい」と部活動が終わる頃、出雲まで迎えに行かれていました。「大変だね」と声をかけると「本人が頑張っているから」といつも明るく全力で支えておられました。帰りは毎日22時だったとか。それからご飯を食べさせたり、次の日の準備をしたりするのは、早番、遅番のある勤務の中で本当に大変だったと思ひます。

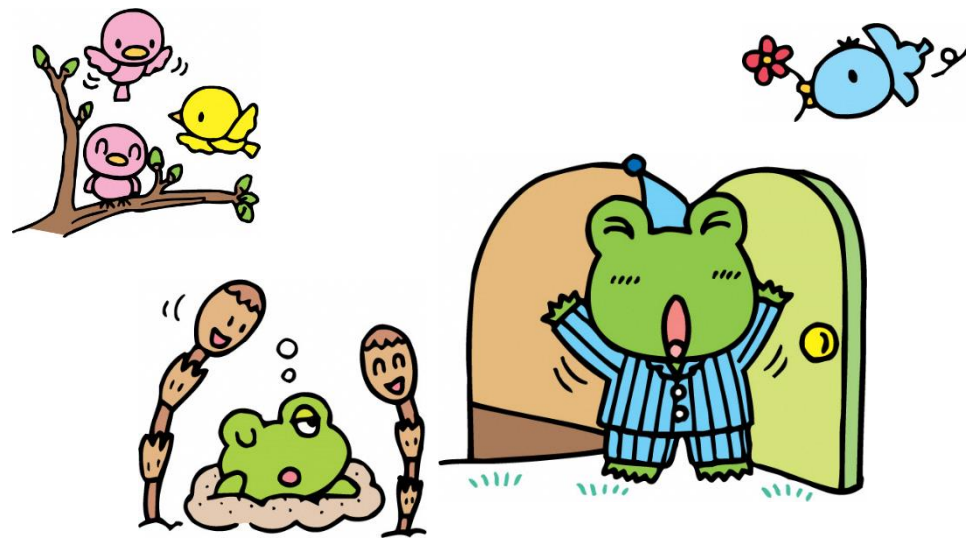
「この子に3年間尽くすと決めていたから・・・」の言葉に母の愛の強さ・素晴らしさと意志の力のすごさを感じ、自分の子育てを反省することしきりでした。「子どもとの時間は、長いようで実はあっという間に過ぎてしまう」とよく聞きます。子どもさんへの愛を自分の楽しみや喜びとして精一杯生きて、子どもが離れた後は自分のために生きることを楽しみにしておられる方も多いです。「〇〇してみようかな」と夢いっぱいイメージを広げて・・・母に幸あれ！

雲南市ファミリーサポートセンター

あ り が と 通 信

No.68 (R6年3月発行)

(通信は、雲南市ホームページ、子育てポータルサイトにUPしています)



センター開設日：月～金

開設時間 (大東本部) 9:00～17:00
(木次支部) 9:00～17:00
(加茂支部) 9:00～17:00

電話・担当 (大東本部) 0854-43-6132 原
(木次支部) 0854-42-2030 深田 日野
(加茂支部) 0854-49-8355 青木 小村
子ども政策課 0845-40-1044 郷原

【情報交換会 & ワークショップの報告】

情報交換会

日時：令和5年12月12日（火）

9：30～10：00

場所：斐伊交流センター

参加者：実動援助会員 8名

進行：ファミサポスタッフ

内容：・「サポート中の緊急対応フローチャート」の配布と説明

- ・「ヒヤリ・ハット事例」の紹介と対策について
- ・スタッフより・・援助活動を行う上での困り感への対応事例と相談の大切さについて
- ・援助活動を行っての感想、意見等

【感想】

- ・「ヒヤリ・ハット事例」についての話しは、身がしまる思いがした。十分に気をつけたい。今後の活動の参考になった。
- ・皆さん、真剣に取り組んでおられ、サポートに当たっての工夫など、話しが聞けて良かった。
- ・何かあった時には動揺すると思うので、「サポート中の緊急対応フローチャート」が手元にあると安心。良いものだと思う。
- ・援助活動をする中で、対応において自分では判断できにくいことがあった。本部や支部に相談でき、対策ができて良かった。

ワークショップ

情報交換会のあと、ドライフラワー製作をしました

日時：令和5年12月12日（火）

10：00～11：30

場所：斐伊交流センター

参加者：実動援助会員 9名

講師：梅 愛理さん

内容：ドライフラワー製作についての話し
ガーランド又はスワッグの製作

皆さん、熱心にお話ししてくださいました

【感想】

- ・初めての経験だったが、とても楽しかった。
- ・素敵なものを作らせてもらった。
- ・材料費が手頃。費用以上のものが作れて満足。

【預かりの様子・子育て支援センターの場にて】

～援助会員さんと一緒に過ごすから安心！

ここだから安心！～

子育て支援センターを利用される方の中で、ファミサポに入会して預かり依頼をされるケースが年々増えています。支援センターでは、援助会員さんが預かりの活動をされている様子が見えるので、「ここだから安心」「ここがいい」と思っただけのようです。

近年、0歳児の預かりが増加しています。援助会員さんが温かいまなざしで話しかけ、ゆったりとかかわってくださるので、赤ちゃんも安心して過ごしています。「お母さんが一番大変な時期を支えたい」との援助会員さんの気持ちを本当に有難く思います。

お母さんと離れるのが悲しくて、始めは大泣きをされる子どもさんもあります。何度か同じ子どもさんを預かったある日のこと、今日はどうかな？と思いながら「お母さんが来られるまで一緒に遊んでいようね」と声掛けしたところ、その日は泣かずに過ごせ、お母さんもびっくりしておられました。それからはもう泣かなくなり楽しく遊んでいます。

私の言葉を理解して納得し、自分の気持ちを抑えることができた・・・自分で乗り越える時が来るんだと、そういう場面に遭遇できたことに感動でした。

私は、2か月で仕事に復帰。そのような時代でした。楽ではあるけれどとても寂しい気持ちがしました。一年間苦勞して育てたという思いがなかったです。今は、育休もあり、大変だけど親子で楽しく過ごせていいと思います。大変な時にはファミサポを利用してリフレッシュしてください。

毎回、楽しみに預かりをさせてもらっています。私の方が、子どもさんに癒され元気をもらっています。



【援助会員さんの声】



【援助会員さんの声】



【預かりの様子・・子育て支援センターの場にて】

～援助会員さんの 子どもさんを包み込む温かさに触れて・・～

用事で子育て支援センターを訪ねると、援助会員さんが預かりをされているのをお見掛けする機会があります。援助会員さんが赤ちゃんの授乳や抱っこ、寝かしつけをされている姿を見るにつけ、“慈愛”（いつくしみ、あいすること）・・そんな言葉がいつも浮かんできます。

遊んでいる子どもさんたちが自由に物に触れたり動いたり、したいことが十分できるように安全面に配慮をしながらも、ゆったりと見守っておられる援助会員さん。その姿に、子どもさんたちが感じているだろう安心感や楽しい気持ちが伝わってきて、こちらまで幸せな気持ちになります。

今年度もお忙しい中、ご都合を付けて活動をしてくださって、本当にありがとうございました。

～援助会員さんの声～

「子どもが好きだから、逆に私が癒されている感じ・・」

「赤ちゃんに触れ合うのが嬉しい。赤ちゃんほど純粋なものはないから」



「〇〇ちゃん」、「かわいいねえ～」と声をかけたり、抱きしめたりしてもらって、子どもさんたちも嬉しそうです。援助会員みなさま、いつもありがとうございます。



送迎活動で大変お世話になっています！

送迎は、子どもさんを保育園などの所属先へ迎えに行き、依頼先まで送る活動です。車の中だけでなく車の乗り降りや外を歩いている移動があるので、援助会員さんの安全面への配慮が多々あり大変です。

定期的な送迎がほとんどであり、曜日の指定があるので「〇曜日は、空けておきます」と言ってお都合をつけ、活動をしていただいています。皆さん、仕事やいろいろな活動をされている方が多く、ご多忙な中で活動していただいていますので、本当に感謝しています。

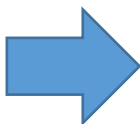
～援助会員さんの声～

支援センターの場での預かりをして、預かりは大変だと思っていましたが、送迎をしてみて、送迎の大変さが分かりました。でも、子育て中の忙しい親さんの助けになればと思い、自分の用事のやりくりをして送迎依頼も引き受けています。安全面に十分注意しながらやっています。

◎安全な利用のために・・・

お陰様で雲南市ファミリー・サポート・センターの援助活動中の事故はありません。援助を提供して下さる会員さんが安全な援助活動をいつも心がけてくださっているお陰だと感謝しています。

今後も安心・安全な援助活動が続いていくために、右のことについてお願いします。



お願い

○体調などについての連絡

・預かり開始前に、当日の体調や睡眠時間、授乳が必要な時には飲んだ時間や量などの聞き取りをしてから預かりを開始しましょう。

○荷物の確認

・子どもさんの荷物カバンは、援助会員さんと依頼会員さん一緒に中身を確認しましょう。(知らないうちに子どもさんが何かを入れていることがあります。安全のための確認です)

○当日の緊急連絡先を知らせる

・お出かけ先や必ず連絡が取れる人の電話番号をお知らせください。

◎援助会員として活動してみませんか？（送迎・預かり）

【送迎のできる方を探しています！】

- 保育所や学校、習い事先へ子どもさんを送迎することができる方はファミリーサポートセンター大東本部までご連絡ください。
- チャイルドシートやジュニアシートなど、送迎に必要なものは貸し出しをします。
- 緊急救命講習、事故防止講習等の受講後の活動開始となります。

【送迎の活動を始める前に必要なこと】

- 「雲南市ファミリーサポートセンター自家用車使用規定」に基づき、使用する車の申請をし、市から「許可証」の発行を受けます。
- 送迎をされる会員さんには、市が「移動サービス専用自動車保険」の加入をしますが、ご自身も次の種類の自動車保険に加入していることが必要です。
 - ・自動車損害賠償責任保険
 - ・自動車保険（任意保険）対人賠償：無制限、対物賠償：1000万円

【雲南市ファミリーサポートセンター会員登録継続のお願い】

- 令和5年度も、新規入会・会員登録継続をしていただき、ありがとうございました。令和6年度も引き続き、登録継続をして頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。

【退会希望の方は、雲南市ファミリーサポートセンター大東本部まで電話でお知らせください。】

- 依頼会員さんで、最後に登録した子どもさんが小学校を卒業される場合は、令和6年3月で退会となります。援助会員への登録変更をご検討ください。援助活動がすぐにできなくても、できるようになった時にできることをしていただけたら喜びます。